

2022年9月12日

京都大学発ベンチャー企業・リージョナルフィッシュ株式会社に投資実行

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）を有限責任組合員として、中信ベンチャーキャピタル株式会社（代表取締役社長 安川 淳史）を無限責任組合員（ファンドの運営者）として設立された「中信ベンチャー・投資ファンド6号投資事業有限責任組合」は、リージョナルフィッシュ株式会社が実施した総額約20億円の第三者割当増資に投資家連合として参加し、投資を実行いたしましたのでお知らせいたします。

今後も地元ベンチャー企業への積極的な支援を通じて、地域の活性化に努めてまいります。

1. <<投資先企業の概要>>

企業名	リージョナルフィッシュ株式会社
代表者	梅川 忠典
事業内容	ゲノム編集技術を用いた品種改良×AI/IoTによる養殖の自動化
所在地	京都市左京区吉田本町36番地1 京都大学国際科学イノベーション棟
設立	2019年4月10日
投資金額	10,006,800円

2. <<投資先企業について>>

リージョナルフィッシュ株式会社は、京都大学大学院の木下政人准教授の研究を基に超高速の品種改良による筋肉増量、高成長、早期精子化を実現。従来30年程度かかった水産物の品種改良のプロセスを、2年程度の超高速での品種改良短縮化に成功。また、近畿大学の完全養殖技術を土台に、閉鎖型陸上養殖を自動化し、販売ビジネスへの発展も計画しています。

ゲノム編集技術を用いた品種改良とスマート養殖を組み合わせた次世代水産養殖システムを作り、「世界のたんぱく質不足の解消」「日本の水産業の再興および地域の産業創出」「海洋汚染の防止」を目指しています。

以上